

11/8 交流を深めました フィリピン現地学校とオンライン交流授業

沼田小学校（吉田純一校長）6年生が、11月8日（金）フィリピンの現地学校とオンラインによる交流授業を行いました。

異文化理解を深めることや、国際感覚を養うことを目的として行われ、児童は画面越しに映るフィリピンの生徒達に気候や学校生活などを質問して、楽しそうにコミュニケーションを取っていました。

授業を終えた生徒は「フィリピンの文化や日本との違いについて知れてよかったです」と笑顔で話し、それぞれがかけがえのない経験となりました。



11/9 いろんな体験ができました 町民交流フェスタ

町民会館にて11月10日（日）町民交流フェスタ&ファミリーコンサートが開催され多くの方々に賑わいました。

化石発掘や薪割りなど、多くの無料体験ブースが設けられ、初めての体験に子ども達は目を輝かせていました。

午後からはファミリーコンサートが行われ、沼田中学校吹奏楽部や美唄市からのゲストPipa!tromboneensembleによる演奏に多くの方が酔いしれていました。来場された家族連れの方は「子ども達と楽しい時間を過ごせてよかったです」と話され、笑顔溢れる楽しいイベントとなりました。



11/11 冬道の運転に気をつけて 夜高パトロール隊出動式

夜高パトロール隊の出動式が、11月11日（月）ゆめっくる敷地内にて行われました。

隊員はパトロール車両の前に整列し、夜高パトロール隊の石田隆広いしだたかひろ総隊長が「交通事故が増える季節を迎えますが、交通事故抑止を目指し一致団結して頑張りましょう」と激励し、深川警察署沼田警察おおしませいじ庁舎大島誠司おおしませいじ所長は「11月13日から冬の交通安全運動が始まり、今後は忘年会シーズンをむかえ飲酒運転や雪道でのスリップ事故が増える可能性がある



るので、継続して街頭活動をよろしく願いいたします。」と挨拶されました。

11/12 うれしい、楽しい、道徳大好き 沼田学園教育講演会

岐阜聖徳学園大学の山田貞二教授^{やまだていじ}を迎え、沼田学園教育講演会が沼田町小中一貫・連携教育推進協議会（三浦剛会長）主催で11月12日（火）開催されました。

山田教授は、道徳科を中心に全国の小中学校で年間100本近くの出前授業と研修を行っており、道徳について数多くの書籍を出版されています。

講演会の前に、沼田小学校で「手品師」の示範授業が行われたほか、沼田中学校では「撮れなかった1枚の写真」の教材を基に、写真から読み取れるものについて生徒同士が話し合い、それぞれの思考を発表しました。

その後の講演会では、各先生方が道徳授業の在り方などについて多くのことを学んでいました。山田教授は「発想豊かにし道徳を好きになってもらいたいです」と話されました。



11/14 おにぎりや豚汁作りを体験 いただきファーム

J A 北いぶき青年部沼田支部（山岡凌太郎部長）が主催する「いただきファーム」が11月14日（木）沼田小学校で行われました。

いただきファームは、小学校の児童に食べ物の大切さや食に興味をもってもらうことを目的に行なわれ、今年は、1年生から4年生がおにぎり作り体験、5年生から6年生が豚汁作り体験を行いました。また酪農学園大学の狩り部による有害鳥獣の学習会が行われ、クマや鹿の毛皮を触りながら、有害鳥獣について学びました。

参加した児童は「豚汁作りで野菜が切れて楽しかった。また、鳥獣被害について知ることができて良かった」と話していました。



11/15 職場における差別について 小学校5年生人権教室

11月15日（金）に人権擁護委員による人権教室が小学5年生を対象に行われました。「お互いの違いを認め合う！」という題材で、差別は人権侵害であり絶対にしてはいけないこと、差別が起きた時に自分たちはどのような言動や行動をしなければよいのかについて、学びました。

渡部順子委員^{わたなべじゆんこ}は「人権ってというのは、幸せに生きるための権利です。」と人権^{かどうき}について話され、加藤早苗委員^{かとうさなえ}は「一人一人が思いやりを持って、皆の事を理解することで幸せになれると思います」と感想を話しました。



11/15 地域の方々が児童の様子を参観

15 地域参観日

地域参観日が11月15日（金）沼田小学校・沼田中学校の3、4時間目の授業で行われました。地域の方が学校での児童生徒の様子を参観することができる催しであり、当日は保護者や学校運営協議会委員をはじめとして、多くの方が学校を訪れました。

小学3～4年生は、町内スポーツクラブ「一般社団法人 N-Link.」が実施するコーディネーショントレーニングを行い、跳び箱やマット、平均台を跳び越える運動を通して身体を思い通りに動かすことを学習しました。

小学6年生は、歴史について、デジタル上で作成したワークをタブレット端末から回答し、お互いの回答の速さを競いながら楽しく学びを深めました。



11/23 石狩沼田駅駅名改称100周年記念

23「沼ルシエ」

沼田町駅未来協議会（松尾敦史会長）が主催する石狩沼田駅イベント「沼ルシエ」が11月23日（土・祝）石狩沼田駅で開催されました。

大正13年4月25日に「沼田駅」から「石狩沼田駅」に改称されて今年で100周年記念として開催されました。

6月から11月まで毎月開催されてきた「沼ルシエ」も今年最後の開催となり、駅前の各ブースでは、100円で楽しめる100周年特別メニューの提供や令和6年産の新米「100合」を使った餅まき、団体専用臨時列車「ぬまた号」の運行など様々な催しが行われ、町内外から多くの鉄道ファンや家族連れで大変賑わっていました。



11/27 「ゼロカーボン」を知りました

27 ゼロカーボン標語・ポスターコンクール表彰式

町が主催した「ゼロカーボン標語・ポスターコンクール」の表彰式が11月27日（水）沼田中学校で行われました。

沼田町は「ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、環境教育の一環として中学生にゼロカーボンに対する認識や活動について考えるきっかけを作ることを目的に開催されており、審査会で選ばれた標語、ポスターの金賞作品などが表彰され、横山町長は「今回のコンクールをきっかけに、私達にもできるゼロカーボンについて多く知ってほしいと思います」話されました。



11/27 北海道コカコーラボトリング(株) 福祉施設へのクリスマスプレゼント寄贈式

北海道コカ・コーラボトルリング株式会社（酒寄正太代表取締役社長）から社会貢献活動の一環として、11月27日（水）沼田町社会福祉協議会（松田剛会長）に清涼飲料水240本がプレゼントされました。

この取組みは、子どもたちや高齢者の方々をはじめとした多くの方へ笑顔を届けることを目的に、1968年から毎年クリスマス時期に合わせて行われているもので、寄贈された清涼飲料水は、町内の老人ホームやデイサービスに配られるなど、ひと足早いクリスマスプレゼントとなりました。



感謝 沼田ダム導水幹線用水路 災害復旧に係る感謝状を贈呈

極東建設株式会社（岩淵正幸代表取締役）に11月12日（火）沼田ダム導水幹線用水路災害復旧に係る感謝状を沼田町、沼田町土地改良区の連名で贈呈いたしました。

令和6年7月17日に国営雨竜川中央地区の導水幹線用水路で漏水が発生し、沼田町、北竜町の農地への通水が困難となり、その際、北海道、札幌開発建設部のご協力を得て極東建設株式会社と工事契約を締結し、早急にご対応いただいたことで通水が再開できました。

農業用水を確保し、地域農業を守るという強い信念とご協力いただいた企業のご尽力により、この実りの秋を迎えることができました。



企業版ふるさと納税のご寄附をいただきました

企業版ふるさと納税をいただいた企業様をご紹介します。

なお、公表についてご了承をいただいた企業様のみ掲載しております。（敬称略）

会社名	所在地	寄附いただいた事業	寄附額
株式会社木本動力工業所	北海道旭川市	そらち自然学校・ワーケーション拠点施設運営事業	-
株式会社グローバルキャピタル	東京都渋谷区	夜高あんどん継承事業	10万円
合同会社1	東京都渋谷区	夜高あんどん継承事業	10万円
令和6年度企業版ふるさと納税寄附総額			250万円